



Bouquet

ブーケ

No.52
2007.3

特集 女性の再就職

CONTENTS

特集 女性の再就職 2 P

子育てが女性のキャリア形成の障害にならない社会をめざして

女性の「就職生活」情報ステーション

マザーズ&レディスのハローワーク 4 P

再就職や起業は自己実現のための手段 5 P

中央大学法学部教授 広岡守穂

輝くひとにインタビュー in 中央区 石川麻紀子さん 6 P

Topics 「冷凍食品を知ってください(お弁当をたのしく)」 7 P

企業レポート みずほインベスターズ証券(株) 7 P

中央区ニュース 8 P



放課後の子どもの居場所「フレディ有馬」

女性の再就職

子育てが女性のキャリア形成の

障害にならない社会をめざして

子育てが一段落した後、専業主婦として一生を過ごすのではなく、かつての実績を生かして何か新しい仕事にチャレンジしたいと思っている女性は少なくないはずです。しかし、外に二歩踏み出すには、さまざまな障壁が待ち構えています。また、子育てをしながらでは、なかなか正社員として採用してもらえないといった雇用の問題、家族のことを考えるとフルタイムで働くことは難しいといった家庭の問題もあります。理想は、子育てのために離職したことが、女性の実績形成の障害にならない社会、だれもが就業や起業に何度でもチャレンジでき、能力を最大限に発揮できる社会です。子育てをしながら、あるいは子育てが終わってから再就職を希望する女性の現状と、再就職するためにどのような努力をすればよいのかを考えてみましょう。

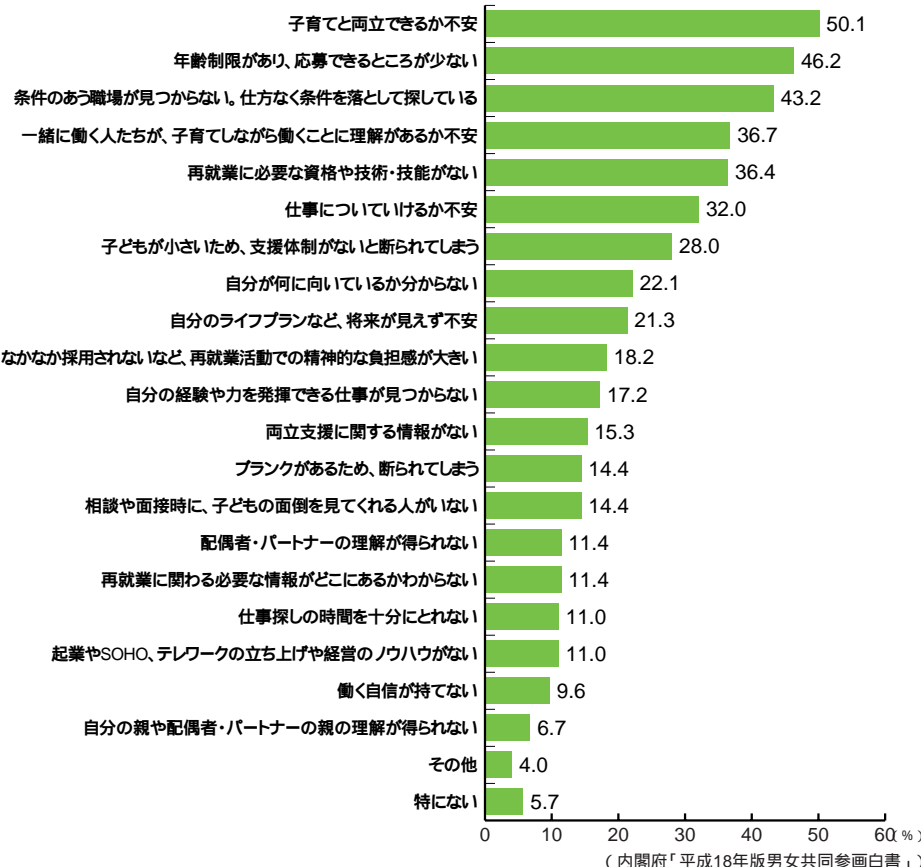
パートタイム、アルバイトが増加

結婚・出産で会社を退職し、子どもがある程度の年齢になってから、再び仕事をしたいと考える女性は少なくありません。厚生労働省の調査でも、子どもの年齢が上がるにつれて、母親の有業割合が高くなっていることが明らかになっています。特に学校や社会で得た知識や技能をもう一度社会で生かしたいという欲求が高まっています。

再就職で希望する就業形態は57・

0%がパートタイムまたはアルバイト、25・9%が正社員、3・3%が派遣社員などとなっています（内閣府「平成18年版男女共同参画白書」から）。再就職活動のときに正社員を希望する女性の割合はそれほど高くありませんが、そのうち実際に正社員になることができた女性は約半数にとどまっています。子育てが一段落した女性を中途採用する企業の割合は18・9%で、再就職を希望する女性にとって狭き門であることがわかります（内

図1 再就業に当たっての課題、不安



仕事と子育ての両立の難しさ

再就職を希望する女性が、希望どおりの職種に就くことが難しい理由としては、仕事と子育てが両立できるか不安があることが一番目に挙げられています（図1）。保育サービスの充実などの子育て支援策が望ま

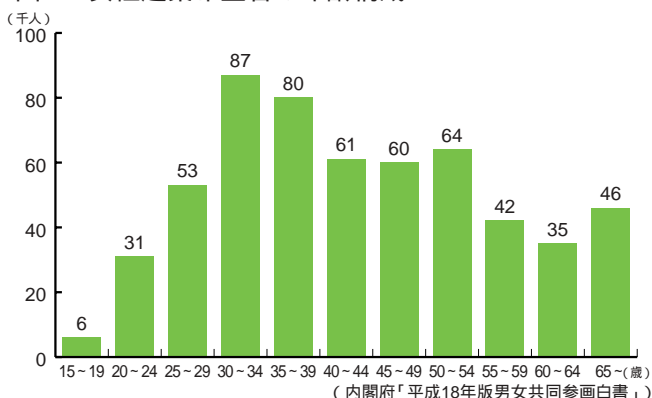
内閣府「平成18年版男女共同参画白書」から）。この結果、再就職した女性のパートタイムまたはアルバイトの比率は増加傾向にあります。

れるところですが、それに加えて夫や両親など家族、地域社会の理解と協力がなければ、子どもをもつ女性の再就職は容易ではありません。子育てが一段落した女性が働くことを希望するのは、単に収入を得たいという理由だけではありません。男女共同参画の意識が高まる中、自分も社会の一員として能力を発揮したいという強い欲求があるからです。そういったことを周囲が理解し、できるだけ支援していく姿勢が求められます。

いことですが、現在働いている社員のことを考えるだけでなく、女性の再就職という面でも社会貢献を果たしてほしいものです。

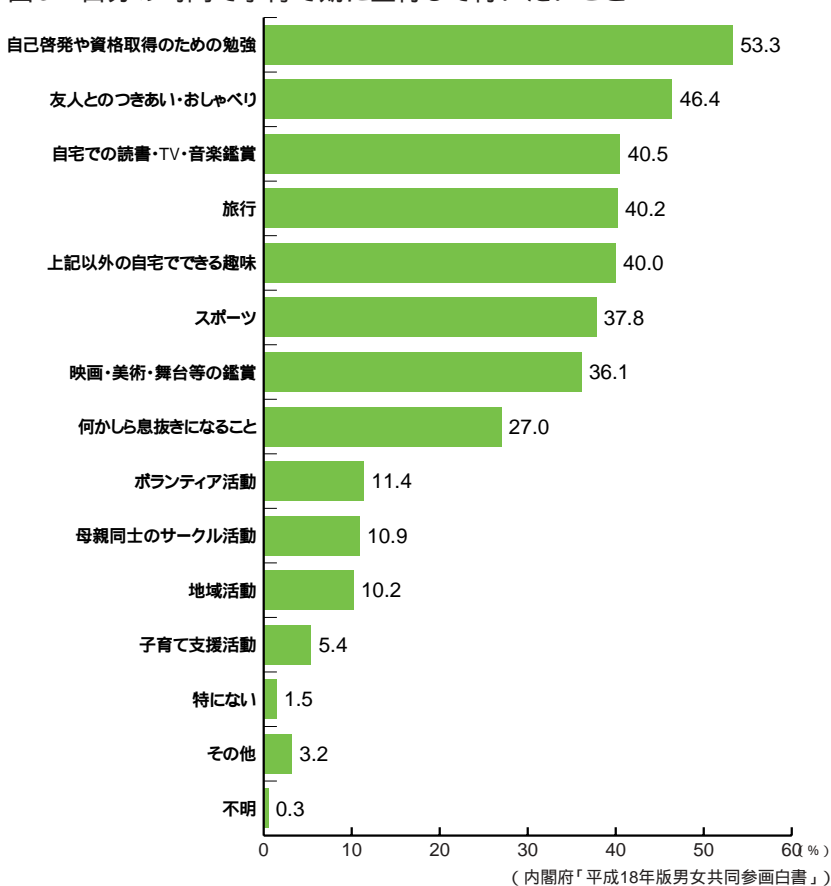
このように再就職が厳しい中、自ら起業を希望する女性も増えています。特に子育て期間中に当たる30代の女性が多いことが特徴です（図2）。インターネットの普及などにより、在宅でも仕事を行うことが容

図2 女性起業希望者の年齢構成



一方、採用する企業の側にも問題があります。「年齢制限があつて、応募できるところが少ない」、「条件の合う職場が見つからない」といった現実的な問題も浮上しています。男女共同参画を方針として打ち出している企業が増えているのは喜ばし

図3 自分の時間で子育て期に並行して行いたいこと



易になったこともその背景にあるのでしよう。

自分自身のスキルアップも重要

再就職を希望する場合、過去の実績に頼るのではなく、子育て中であっても、自分自身のスキルアップを図ることも重要です。時代はどんどん変化していきますから、常に新しい知識や技術を身につけなければ、企業に必要とされる人材として認められません。自己啓発や資格取得な

ど、新たなことにチャレンジする姿勢も大切です。

最近では、再就職を後押しする行政や企業の支援・サービスも増えてきました。行政等のサービスとしては、渋谷にあるマザーズ&レディスのハローワーク（4ページに詳細を掲載）が、専門カウンセラーを置いて女性の就労を促進しています。また、財団法人21世紀職業財団や東京ウィメンズプラザ、東京しごとセンター、女性と仕事の未来館でも、再就職準備セミナーや再就職について

の個別相談などを行っています。行政等のセミナーや個別相談はほとんどが無料です。積極的にこういう場を活用することが、希望する職種に再就職する近道となるのではないのでしょうか。

再就職のための行政等のサービス

(財)21世紀職業財団東京事業所

文京区本郷2 3 9

ツインビュー御茶の水2階

電話03(3868)9601

<http://www.jiwe.or.jp/index.html>

東京ウィメンズプラザ

渋谷区神宮前5 5 3 6 7

電話03(5467)1711

<http://www.tokyo-o-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>

東京しごとセンター

千代田区飯田橋3 1 0 3

電話03(5211)1571

<http://www.tokyoshigoto.jp/>

女性と仕事の未来館

港区芝5 3 5 3

電話03(5444)4151

<http://www.miraikan.go.jp/>

マザーズ&レディスのハローワーク

(4ページ参照)

女性の「就職生活」情報ステーション

マザーズ&レディスのハローワーク

「マザーズ&レディスのハローワーク」は、女性の就労促進を目指して、昨年4月に全国12カ所のマザーズハローワークの一つとしてオープンしました。今年2月には、「レディス」相談コーナーも新設され、子育て中の人でなくても、また子育てと仕事の両立を希望する男性も、就業の有無にかかわらず利用可能な施設となっております。女性スタッフが約7割と、他のハローワークより多く、また渋谷駅から徒歩3分、平日は午後7時までという、就業中の人にも利用しやすい条件が注目を集めています。

25台の求人検索用パソコン、12の相談ブース、各種講習や「面接突破セミナー」などが開催されるセミナールームも設置されています。

子育て中の女性の求職者を支援する主なサービス

「仕事と子育て支援コーナー」

育児経験のある女性カウンセラーが、仕事と子育ての両立に関する相談に応じています。企業や求人についてだけでなく、保育施設などの情報も得られます。一人の求職者が就職するまで同じカウンセラーが対応し、きめ細やかな就職プランを提供しています。



「マザーズ求人」

子育て中の女性に適した求人情報が用意されています。勤務時間が概



ね午前9時から午後5時までの残業のない仕事や、育児休暇の取得実績がある企業など、育児と就労を両立しようという女性の希望に応じた求人情報が揃っています。

「チャイルドコーナー」

保護者と一緒の子どもたちが退屈しないよう、絵本やおもちゃなどの遊び道具があります。



ベビーベッドなどもあり、乳幼児を連れて来所する求職者にも配慮されています。

取材を終えて

ホームページなどで下調べはしていましたが、どんな施設であるか興味深々で、取材に伺いました。エレベーターで建物の3階へ上がりガラスの自動扉を入ると、広々とした明るい空間があらわれました。各コーナーにはさまざまな配慮が感じられます。ゆったりとした清潔な環境で、快適に職探しや就職・転職相談ができそうです。情報検索、個別相談、セミナー受講等は無料で、

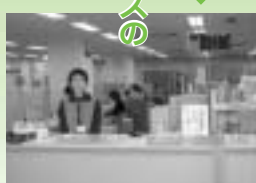
渋谷駅からも近く、よい施設を知った！と得した気分になりました。

施設を案内していただいたスタッフの方によると、子育て中の女性が再就職を成功させる秘訣は、仕事探しと保育者の確保を同時並行で進めることだそうです。そんなとき、就職と保育の両方の情報を発信している「マザーズ&レディスのハローワーク」が強い味方になってくれるでしょう。近隣には子どもの城や東京都児童会館など、子ども向けの遊び場もあります。買物や遊びに行つたついでに、ぜひ、のぞいてみませんか。

(フーケ21事業協力スタッフ取材・執筆)

◆利用案内◆

マザーズ&レディスのハローワーク



【所在地】

〒150 0002

渋谷区渋谷1 13 7千秋ビル3階

(渋谷駅宮益坂口・東口から徒歩3分)

TEL 03(3409)8609

<http://www.hw-shibuya.go.jp/mothers.html>

【利用時間】

平日 午前10時～午後7時

土曜 午前10時～午後5時

休館日 日曜・祝日・年末年始

再就職や起業は 自己実現のための手段

中央大学法学部教授 広岡守穂



高い再就職のハードル

退職して家庭に入った女性が、再就職しようと思った場合、働き方と子育ての両方に問題が出てきます。

働き方については、フルタイムで就職しようとする、そう簡単に子育てと両立できません。まず、預かってくれるところが必要になります。鶏と卵の関係のようなところがあって、保育所が預かってくれないと勤め先が決まらないうし、勤め先が決まらないと預かってもらえません。かつては気の合った近所のお母さん同士が共同保育を行い、自分の時間を作る工夫をしていました。今では隣近所に頼ることも難しくなってきました。保育所に預かってもらえず実家が遠く育児の助けが求めにくいと、せめて子どもが幼稚園に上がるまでは自分が一緒にやりたいという気持ちが強くなります。信頼できる関係の中で、預かってくれる人がいないと、なかなか再就職に踏み出す勇気が出てこないのではないかと思います。

もうひとつが子育ての問題です。ほ

とんどの男性は、母親と赤ちゃんが一緒にいてこそ「ピー」と思っています。切り離したら、赤ちゃんはもちろん母親もかわいそうだと思っているのです。ところが、子育て中の女性は、半日でも2時間でもいいから独りになつて、ほっとしたいと思つています。そのズレが大きいのです。男性は少し意識を変えなければいけません。

一方で、夫は育児に関心が薄いところがあることが多く、女性は自分がしつかりしなければならぬと思つています。子育てが始まると、女性は子育てを中心に考えざるを得ない状況で、そのため再就職のハードルが高くなるわけです。

人生を前向きに考える

一歩踏み出して働くには、再就職や起業など、さまざまな道があります。どれを選んでいいと思いませんが、その際、仕事をするのが単に収入を得るためではなくて、自己実現をしていくための大切な手段だと

思えるかどうか重要です。そう思えたら、勇気を持って、万難を排して障害を乗り越えていかなければなりません。それが再就職のための一番重要な最初のスタート点です。

夫は家庭内の再就職支援のもつとも重要な人物です。夫婦は、お互いの自己実現を支え合つていくという気持ちを持つことが大切です。その場合、子育てを一緒に行うのがよい夫ではなくて、自分の大切なパートナーの自己実現を支えることが、一番大事なことです。

一人の人間の生き方としては、なるべく人生を前向きに考えるべきです。今やつていくことが実績になり、次の段階につながるという楽観性が必要だと思えます。フルタイムでなくても、意識の持ち方ひとつ、働き方ひとつで道が広がります。将来、労働基準法が改正されて、パートタイムとフルタイムが同一賃金になつていくでしょうから、賃金だけを考えるとパートタイムや派遣社員だから将来がないと考える必要はないと思えます。

地域のNPO活動も 再就職の選択肢

働くということが収入を得るためだけの目的なら、赤ちゃんと一緒に

いたほうがよいと思つている女性も結構います。そういう人たちは、女性センターなどで学んで、そこから一歩ずつステップアップして、NPO活動等でキャリアを積んで、起業や再就職をするという道もあるのではないかと思います。子育て中の人は、社会との接点が少ないという孤立感が非常に強いので、現実との距離感を取り戻すためにも、公的なサービスを上手に利用して、社会とのつながりを持つことが大事です。

女性センターは、広い意味で社会教育の場です。学校教育は就職という出口がきちんとありますが、社会教育は出口がないことが最大の問題です。すぐに再就職できなくても、公的な学習の場で学ぶという道があると選択肢が広がる場合があります。人生のどの場面からでも、勉強の成果が実績として評価されて、次の段階が見つかるという社会が一番よいわけです。それは女性が再就職していく場合にも大事な土壌だと思えます。

最近、子育てサークルから事業が起る事例が増えています。佐賀県の女性センター・生涯学習センターの館長をやっている経験から言つと、地域でNPO活動を起こしていくという道も、再就職の選択肢の中に入れていいのではないかと思います。

東京メトロ銀座線の車掌として 乗客に安全と快適さを提供。

東京メトロ 統括車掌 石川麻紀子 さん



Q どうして車掌という仕事を選んだのですか。

車掌をしていた父の影響もあり東京メトロに入社しましたが、とくに車掌になりたいというわけはありませんでした。入社後1年半は駅員の勤務をし、ホーム整理を行っているときに車掌の仕事を見て、格好いな、新しいことに挑戦してみたいなと思い、車掌登用試験を受けました。研修終了後、平成8年12月に渋谷車掌区に配属され、見習い期間を経て、平成9年2月から銀座線の車掌をしています。

Q 車掌の仕事はどのような内容なのでしょう。

お客様に目的地の駅まで安全に、乗車していただくことが第一ですが、それに加えて車内放送で駅名を言ったり、忘れ物がないように注意を促したりします。ドアの開け閉めは、事故につながることもあるので、もうとモ気を遣います。お客様がドアに挟まれたまま発車してしまう危険を避けるため、車掌が自分の目で安全を確認してから運転士にブザーで合図を送らないと発車できないようになっています。

急病人が出たときは、車内放送をしてから現場に行って処置をします。そして、お客様への対応を駅係員に引き継いでから電車を発車させます。銀座線の乗務は1日5往復が基本です。渋谷駅から浅草駅まで乗務し、浅草駅で折り返して渋谷駅に戻ってきます。日中は浅草駅に電車が到着してから発車するまで約4分しかありませんが、その間に忘れ物を探したり、ゴミを拾ったり、列車に異常がないかを確認しなければなりません。

乗務しているときに酔っ払って絡んでくるお客様もいらっしゃいます。そういう場合は一人に対応せず、すぐ列車無線で応援を求め、駅係員に求めてもらいます。

Q 夜勤や早朝勤務もあるのでしょうか。

入社した頃は日勤の仕事しかできなかったのですが、労働基準法が改正されてからは男性と同じ勤務を行っています。深夜や早朝を担当するときは泊まりになります。一般的に仕事は出勤時間が二定の方が多いのですが、私たちの場合は乗務する時間に合わせ、分単位で変わります。日勤の出勤時間は、7時台から10時台まで、毎日時間が異なります。

Q 男性の多い職場で不便を感じることはありませんか。

現在、渋谷車掌事務室では80名在籍している中で女性は3名だけです。私が車掌区へ来たときは女性がいないだったので、ちょっと不安がありました。職場の皆さんが気さくに接してくれたので、全然心配することはなかったですね。仕事をやるうえで困ったのはトイレくらいでした。

今は女性専用のトイレもあり、寝室も配慮されているので安心です。

Q 仕事のやりがいは何でしょうか。

乗務している電車が違えば、乗車されているお客様もまったく違います。いつも同じ風景ではないので新鮮です。女性の車掌はまだ珍しいので、「頑張ってる」と言ってくださるお客様もいらっしゃって、その一言がとても励みになりますね。

浅草は観光客が多いので、家族連れや子どもたちと一緒に写真に入ることもあります。女性のほうが話しかけやすいというメリットがあるかもしれないですね。

Q これから車掌になりたい人へアドバイスはありますか。

男性、女性にかかわらず、安全第一の仕事なので、何よりも安全を守ることが大事です。時間にルーズな人は難しいですね。休憩の時間が少ないこともありますが、時間に追われてもきちんと仕事をこなせる資質が求められます。すごく神経も遣います。男性が多い職場ですから、負けず嫌いの人のほうがいいかもしれませんね。お客様からのご意見に対して冷静に対応できる能力も必要です。

Q 今後の抱負をお聞かせください。

これからも事故を起こさないように仕事をし、いき、早く監督職になりたいと思っています。出産休暇や育児休暇も取れる働きやすい会社なので、できればその制度を利用して、結婚しても仕事を続けようと思っています。

平成18年11月20日(月)

「冷凍食品を知ってください(おべんとうをたのしく)」 が開催されました。

女性センター「ブーケ21」ワークルームにおいて、講座『冷凍食品を知ってください(おべんとうをたのしく)』が開催されました。これは、冷凍食品の特色や便利な利用方法などを多くの人に知ってもらおうと、中央区女性ネットワークと中央区消費者友の会によって企画されたものです。当日は小春日和に恵まれ、子ども連れの方や栄養士として活躍する方など30名余りの参加者が集まり、食育に詳しい講師を囲んで楽しく進行了しました。



講師の加嶋慶子さん

参加者からは、冷凍食品を食卓に並べることは「手抜き」をしているように思えてしまうという声もありました。講師からはこのような意見に対し、手作りか冷凍かの二者択一

ではなく、ライフスタイルやその日の予定、家族の年齢や体調、味の好みなどさまざまな状況に合ったものを使えば、栄養的にも偏らず食卓に彩りも添えられて効果的であるという話がありました。肩肘張らず、心身の状態や生活に合わせた食材を利用できれば、ふだんの食事もよりおいしく、楽しいものになるかもしれません。



楽しく試食

冷凍食品を使用した料理の実演も行われました。試食後には「冷凍食品は遠足などの特別な場面で使用するものという印象があったが、ふだんの食事にも応用してよいのだと感じ、新鮮な発見があった」といった感想が多数聞かれ、盛況のうちに終わりました。

広がる男女共同参画/企業レポート みずほインベスターズ証券株式会社 女性活躍推進委員会が事業推進

ファミリー・フレンドリー企業の表彰を受け、女性が働きやすい職場として定評のあるみずほインベスターズ証券。平成17年4月に社内制度の全面改定を行いました。社長自らが委員長を務め、女性社員12名が参加する女性活躍推進委員会が中心となって、仕事と育児の両立や女性のキャリアアップに取り組んでいます。

育児休業制度は対象者の子ども年齢を1歳未満から2歳未満に変更。短時間勤務制度は、就業時間内なら自由に時間設定でき、最大6時間まで短縮できるように改定しています。

育児および産休中のサポートにはインターネットを使って企業と休職者が連絡を取りあえるシステム「wiiw」を活用。休業期間中も昇格・昇給の査定を実施し、休業中の社員にフィードバックをして復帰後の処遇を明確にしています。「育児休業を取得したことにより、評価が下がることがないようにしています。」と女性活躍推進委員会事務局である経営企画部経営企画グループの石井夏子さんは説明します。また、短時間勤務制度を取得しやすくするため、短時間勤務者がいる部や支店が、本社の経費で必要な人員を確保できる制度も整えています。

財団法人21世紀職業財団が募集する「男性の育児参加促進事業実施事業主」

にもなり、男性の育児休業取得に力を入れていることも特徴です。育児休業の開始当初5日間を有給にして、配偶者出産休暇と合わせて10日間の有給休暇が取れるようにしています。これまでゼロだった男性の育児休業取得者が、平成17年4月から現在まで9名となり、着実に実績を上げています。



経営企画部経営企画グループの
エグゼクティブスタッフの
石井夏子さん



女性活躍推進委員会の打ち合わせ

ほかにも、従事したい仕事や部署への配置転換を自ら申し出る「ジョブチャレンジ制度」では、女性社員の参加を積極的に推進しています。これまで女性の応募は少なかつたのですが、徐々に変化があらわれているようです。「総合職には転居を伴う異動のある「Aコース」と、ない「Bコース」があり、Bコース社員がジョブチャレンジにより転居を必要とする場合、従来はAコースに変更をする必要がありましたが、現在はBコースのままで応募でき、ジョブチャレンジ期間中、住宅に係る費用の一部を会社が負担する等の制度の充実を図りました。その結果応募者に占める女性の割合は50%強まで上昇し、男性を上回っています。」と石井さんは語ります。今後のさらなる成果が期待されます。

『中央区女性史』の発刊および
記念講演会のお知らせ

中央区では平成16年度から、本区にゆかりのある女性の生活や体験をまとめる女性史編さん事業に取り組みしてきました。このたび、震災や戦争の苦難を乗り越え、懸命に生きてきたその足跡を活字に残し、将来への道筋にするため、通史と聞き書き集で構成する『中央区女性史』を発刊します。

区では女性史の発刊記念として、通史を執筆し、聞き書き集編さんの指導にもあたられた江刺昭子さんによる講演会を予定しています。さらに『中央区女性史』を参考資料として、中央区における女性の来し方を学び、次代に生かすことを目的とした連続講座も実施する予定です。詳細は、4月15日号の『区のおしらせ 中央』等でお知らせします。



編さん作業をする女性史編さん委員

「第6回中央区ブーケ祭り」始動
メインテーマは「輝きをつないで」に決定

毎年たくさんの方の来場者で賑わう「中央区ブーケ祭り」を今年も開催します。この祭りは、女性センター「ブーケ21」を拠点に活躍するグループが、活動内容の紹介や日頃の成果を発表する年に一度のイベントです。



昨年の開催風景

例年、国が定めた男女共同参画週間（6月23日から29日）に合わせて実施しており、今年も6月22日（金）、23日（土）に開催する予定です。

企画運営は、女性センターで活動する団体や個人と区で構成する実行委員会が行います。2月9日（金）に第1回実行委員会が開かれ、早速今年のメインテーマを「輝きをつないで」に決定するなど、祭りに向かう熱い思いがあふれています。今後、実行委員会では特別企画などについて検討し、「中央区ブーケ祭り」をつくりあげていきます。

「第2回中央区男女共同参画
推進委員会」を開催しました

2月21日（水）に平成18年度第2回中央区男女共同参画推進委員会が開催され、平成19年度事業案（や男女共同参画行動計画）について話し合われました。

『Bouquet』が、
ホームページでも見られます

中央区のホームページでは、区の男女共同参画に関する取り組みの情報を掲載しています。トップページの「くらしに便利な情報」から「男女共同参画」を選ぶと、男女共同参画ニュース『Bouquet』の今までの記事や、女性センターが実施する講座のお知らせ、男女共同参画推進委員会の記録などをご覧いただけます。ぜひご利用ください。



お勧め図書のご案内

女性センターでは、性別にとらわれない、自分らしい生き方を応援する資料が揃っています。ぜひご利用ください。

『世界がもし100人の村だったら』

4 子ども編

池田香代子・著

編 集 後 記

梅の花がほころび、日差しにも春の訪れを感じる季節になりました。女性センターに隣接する屋上公園では、子猫が目を細めて日光浴する姿を見かけます。さて、今号は女性の再就職を特集しました。子育てなどを理由に退職した人が復職するための支援は必要ですが、さまざまな事情があっても女性が仕事を辞めずに済む社会づくりも大切です。3月8日は国際女性デーです。女性への暴力や差別に反対する活動が、世界中で行われる日です。1975年に制定されて30年余り、いまだ女性の経済力や発言権は十分とは言えません。女性センターでは、女性が暮らしやすい社会を実現するため、今後も積極的に事業を行ってまいります。

『月経と犯罪』

女性犯罪論の真偽を問う

田中ひかる・著

女性による犯罪と月経を関係づける説の医学的根拠を検証し、その信憑性を追及します。

『シマが揺れる』

沖縄・海辺のムラの物語

浦島悦子・著

普天間基地移転や辺野古海上ヘリポート建設に揺れる住民の、複雑な感情と懸命に生きる姿を伝える写真集です。



地球を人口100人の一つの村に例え、世界の課題を考える人気シリーズの第4作。次代を担う、22億人の子どもの現状と希望を探ります。